

『文章表現』 問題用紙

(制限時間 180分)

(令和5年6月18日実施)

ウィズコロナからアフターコロナの状況となり、商業施設などに多くの人が戻りつつある、またインバウンド客も復活機運にある。普及したデジタルトランスフォーメーションにより日常生活や働き方から時間・空間・距離の制約を取り払うことが出来るようになり、経済活動も通常化に向けて動き始めている。今後、商店や商業施設などに求められる役割や在り方も変化しようとしている。

そのような状況をふまえ、次の問いの、1)～11)の中から3つを選び、あなたが日々の業務や学習において見聞、実践している事例をもとに、そのテーマにおける課題と新しいアイデア及び解決案を、各問いそれぞれ800字以上～1,000字未満で記述してください。(問い1つに対して、答案用紙1枚内にまとめる)

〔 問い 〕

- 1) アフターコロナにおける商業施設の事例と今後の商業施設に求められるコンセプトや役割について
- 2) 地方におけるインバウンド対応施設の事例をあげ、それを核として地域活性化を進める際の課題と新しいアイデアについて
- 3) 商業施設におけるSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた消費者が参加できる取り組み事例とその考察について
- 4) エネルギーコストの上昇・資材の高騰が高止まりしている中で大型商業施設の課題や対応策について、事例とその考察について
- 5) 商業施設における顧客接点、施設運営、人事育成、販売促進におけるDX導入事例をあげ、そのメリットについて
- 6) AIやロボットの活用により消費者が商業施設利用で受ける恩恵と課題および今後の可能性について
- 7) 地域社会の課題を解決する商店街の空き店舗を活用した施設の事例をあげ、その新たな可能性や効果について
- 8) 地方創生を目指す地域において、独自のテーマやターゲットを設定した施設の事例と地域への波及効果について
- 9) 非対面が日常化する現状において、リアル店舗やエンターテイメント施設の現状と今後の集客の課題について
- 10) 木造建築・脱炭素化など、SDGsを考慮した設計・施工上の取り組み事例とその考察について
- 11) VR、BIMなどDX（デジタルトランスフォーメーション）の活用が加速している中で、デジタル技術を活用した設計・施工上の取り組み事例とその考察について

《注意事項》

1. 所定の答案用紙に、与条件等を考慮した文章・図表を用い、問い1つに対して1枚内にまとめること。(注：なお、グラフ、機能図、概念図などにおいて表現する場合には、答案用紙内に記述のこと。)
2. 答案用紙の上段の欄の、「選択した問いNo.」「受験番号」「氏名」をすべての用紙に記述のこと。「通し番号」は下記を参考のうえ、使用した用紙すべてに記入して下さい。

通し枚数→ 1 / 3 ←全解答枚数

試験地(○印を)	受験番号	氏名
1.札幌 2.仙台 3.東京 4.名古屋 5.大阪 6.広島 7.福岡	<input type="text"/>	<input type="text"/>